



# 優良住宅部品性能試験方法書

Methods of Testing Performance of Quality Housing Components

## 暖・冷房システム(衣類乾燥機(温水式))

Heating and cooling systems (Clothes Dryer By Hot Water)

BLT HS/B-b-11:2026

2026年4月15日公表・施行

一般財団法人 **ニゴ-リビ-ン**



## I 性能試験項目

優良住宅部品認定基準において、試験により性能等を確認する項目、試験方法等は下表によるものとする。

	性能試験項目名	性能試験方法	備考	頁
1.	乾燥度試験	BLT-HS/B-b-11-01		1
2.	騒音試験	JIS C 9608 : 1993 (追補 : 2007) (回転ドラム式電気衣類乾燥機) 8.7「騒音試験」		-
3.	消費電力試験	JIS A 4007 : 1995 (追補 : 2008) (ファンコンベクタ) 8.2「消費電力試験」		-
4.	絶縁抵抗試験	JIS A 4007 : 1995 (追補 : 2008) (ファンコンベクタ) 8.7「絶縁抵抗試験」	第三者性を有する機関等による試験の実施	-
5.	絶縁耐力試験	JIS A 4007 : 1995 (追補 : 2008) (ファンコンベクタ) 8.8「絶縁耐力試験」	第三者性を有する機関等による試験の実施	-
6.	通水抵抗試験	JIS A 4007 : 1995 (追補 : 2008) (ファンコンベクタ) 8.4「通水抵抗試験」		-
7.	気密及び耐圧試験	JIS A 4007 : 1995 (追補 : 2008) (ファンコンベクタ) 8.9「気密及び耐圧試験」		-
8.	温水開閉弁の温水閉止性能試験	BLT HS/B-b-607 (優良住宅部品性能試験方法書(暖・冷房システム(コンベクタ・ラジエータ))の13.「温水開閉弁の温水閉止性能試験」)		-
9.	温度試験	JIS A 4007 : 1995 (追補 : 2008) (ファンコンベクタ) 8.6「温度試験」		-

## II 試験体

試験体の種別、形状、個数については性能試験方法で示すとおりとする。ただし、個数の下限は当財団の判断によるものとする。

また、試験体は認定申請時に提出された設計図書の図面、仕様書の内容と同一のものであり、差異のある場合は、追加試験の要請もあり得る。

## III 試験結果の提示

定量的に表示しうるものは図表化を図ること。また、外観観察については具体的に、何が、いつ、どのような状態になったかを試験目的にそって簡潔に記述すること。なお、試験体、試験装置は詳細図を添付し、また、試験結果を示すのに有効な場合は写真を添付すること。



優良住宅部品性能試験方法書（暖・冷房システム（衣類乾燥機(温水式)））

(1) 試験方法名称	乾燥度試験	試験番号	BLT-HS/B-b-11-01														
(2) 関連要求項目および性能	1.1 機能の確保 1) 乾燥性能																
(3) 試験の目的	衣類乾燥機の乾燥性能を確認する。																
(4) 試験体	種別 レベル	衣類乾燥機（温水式）本体	個数 1														
(5) 試験方法	(5-1) 概要	衣類乾燥機を運転し、乾燥時間および被乾燥物の質量を測定し、乾燥度を算出する。															
	(5-2) 試験機 試験装置 測定装置	<p>&lt;試験布&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS C 9606:1993（追補：2007）（電気洗濯機）の「模擬洗濯物の形状」に準ずる材質として下記内容のものとする。</li> <li>・ 試験布の性質</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>縦の密度</td> <td>30±2 本/cm</td> </tr> <tr> <td>横の密度</td> <td>27±2 本/cm</td> </tr> <tr> <td>縦糸の太さ</td> <td>32±2<sup>S</sup></td> </tr> <tr> <td>横糸の太さ</td> <td>36±2<sup>S</sup></td> </tr> <tr> <td>質量</td> <td>100±10g/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td>木綿</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 試験布の形状</p> <p>・ 試験布の基準質量W<sub>0</sub>と試験布枚数 試験布はのり抜き後使用するものとし、基準質量は 2 kg±50g とし、枚数を決定する。なお、試験布の使用回数は、5 回以上 60 回以内とする。 温度 20±2℃、相対湿度 65±5%の条件のもとに一昼夜放置し、質量が一定になったとき測定することを標準とする。 上記の条件で処理することができないときは、一昼夜放置でなくても、一般空調室で、質量が安定した状態となったときに測定すればよい。</p>		項目	仕様	縦の密度	30±2 本/cm	横の密度	27±2 本/cm	縦糸の太さ	32±2 <sup>S</sup>	横糸の太さ	36±2 <sup>S</sup>	質量	100±10g/m <sup>2</sup>	材質	木綿
	項目	仕様															
	縦の密度	30±2 本/cm															
横の密度	27±2 本/cm																
縦糸の太さ	32±2 <sup>S</sup>																
横糸の太さ	36±2 <sup>S</sup>																
質量	100±10g/m <sup>2</sup>																
材質	木綿																
(5-3) 試験体の前処理方法・条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験室：試験室内気温 20±3℃（相対湿度 65±5%）</li> <li>・ 電源：製造者表示定格電源</li> <li>・ 温水入口温度：80±2℃（温水式の場合）</li> <li>・ 温水量：製造者表示定格量</li> <li>・ 負荷：標準乾燥容量とし、(5-2) で指定する試験布を使用する。</li> <li>・ 試験布脱水度：57±0.5% *1</li> </ul> <p>*1：(5-2) で指定する試験布を使用し下記の式より求める。 脱水度 (%) = (W<sub>0</sub>/W<sub>1</sub>) × 100 W<sub>0</sub>: 試験布基準質量(g) W<sub>1</sub>: 脱水後の試験布質量(g)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フィルターは、毎回試験の最初に清掃する。</li> </ul>																
(5-4) 試験方法の詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脱水度 57±0.5%の試験布をドラム庫内に入れ運転し、製造者の設定する定格乾燥時間乾燥させた後、被乾燥物の質量を測定し、乾燥度Rを算出する。乾燥度Rは下記の式による。測定は4回繰り返し、その平均値とする。</li> </ul> $R (\%) = (W_0 / W_x) \times 100$ <p>W<sub>0</sub>: 試験布基準質量 (g) W<sub>x</sub>: 製造者の設定する定格乾燥時間乾燥させた後の試験布の質量(g)</p>																
(6) 試験結果の表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験布基準質量W<sub>0</sub></li> <li>・ 製造者の設定する定格乾燥時間乾燥させた後の試験布の質量W<sub>x</sub></li> <li>・ 製造者の設定する定格乾燥時間乾燥させた後の乾燥度</li> <li>・ 乾燥時間</li> </ul>																
(7) 要求性能	標準モードで運転し、試験布の乾燥度が、97%以上となること。																
(8) 注意事項																	